



健康状態の報告ができることをめざした指導

対象の実態及び課題

一定の理解言語はあるが、表出面では具体的なコミュニケーション手段を有しておらず、自分の健康状態（元気、頭が痛い、お腹が痛い等）を他者に伝えることが難しい状態である。視覚情報の処理は得意であり、指導に生かしていきたい力である。

指導目標

朝の会でその日の健康状態について、絵カードのポインティングにより報告することができる。

学習内容

＜健康状態の報告学習＞

- 1 「元気」「しんどい」の絵カードからその日の健康状態に該当する方をポインティングにより指導者に伝える。
- 2 「しんどい」場合は、「頭が痛い」、「お腹が痛い」、「気分が悪い」、「けが」等の絵カードの中から、該当するカードをポインティングにより伝える。

指導方法

①の場合

- ・ 絵カードに注目するように促し、元気かどうか尋ねる。
- ・ 2枚の絵カードから該当する方をポインティングするように促す。

②の場合

- ・ 「しんどい」の絵カードを選択した場合は次の絵カードを提示して、どこがしんどいのかを尋ねる。
 - ・ 4枚の絵カードから該当する健康状態をポインティングにより知らせるよう促す
- ・ 使用する絵カードは児童（生徒）の実態に応じて数や種類を工夫する。
- ・ 動作表現が得意な場合は、身振りサインを用いて報告するように指導する。

①元 気 しんどい ②頭が痛い お腹が痛い 気分が悪い けが

